

「稲沢市観光まちづくりビジョン」の見直しについて（案）

1 見直しの方向性

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）では、観光を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、戦略的に取組を推進していくため、中間年度（5年）を迎えた段階で計画内容の見直しを行うことが定められています。

これに従い、計画5年目に当たる令和4年度は、これまでの取組の成果と課題、昨今の社会・観光情勢等を踏まえ、後期5年間（令和5年度～令和9年度）の推進に向けた所要の整備を図るため、計画の見直し作業を予定していました。

しかし、令和2年以降、国内のみならず世界的な感染拡大を見せる新型コロナウイルスの影響は、当初の予想を大きく上回る長期化の様相を呈しており、収束に向けた見通しも依然不透明な状況にあります。また、計画の見直しに当たり、前期取組（～令和4年度）の評価及び後期取組の方向性を判断する上での材料とするため、各種実態調査の実施を検討しましたが、現下の情勢では平常時のデータ取得が困難な状況にあります。

以上のことから、令和4年度中に予定していた中間見直し作業を予定どおり進めることは難しいと考えます。ただし、現状のままでは変化する観光情勢に対応することが困難であるため、現計画を補完するものとして、コロナ禍における観光まちづくりの方向性を示すとともに、感染収束後（After コロナ）の観光振興に繋げるための施策について定めた「稲沢市観光まちづくりビジョン with コロナ期戦略版」（以下「with コロナ期戦略版」という）を新たに策定したいと考えます。

2 with コロナ期戦略版の考え方

- ・ 現計画の全体見直しは一時保留とし、感染収束までの間は with コロナ期戦略版に基づき観光推進施策を進めていくこととする。
- ・ 前期5年における国、県の観光に関する状況、新型コロナウイルス感染症の影響、本市の観光を取り巻く現状と課題を整理し、with コロナ期における実施方針及び基本戦略を定める。
- ・ 必要に応じて新たな成果指標及び目標値の設定を行う。
- ・ 現計画のアクションプランについては、with コロナ期に沿った内容及び After コロナ期を見据えた内容とすべく、必要に応じて整理見直し及び追加を行う。併せて、事業を再整理する中で、優先度の高い事業を重点化し、実現に向けたプロセス設計と実施責任の明確化を行う。

3 スケジュール

令和4年5月	稲沢市観光基本計画推進委員会開催 「with コロナ期戦略版」策定方針の決定
6月	策定作業
〃	稲沢市観光基本計画推進委員会開催 < 2回程度 >
12月	「with コロナ期戦略版（案）」公表 【パブリックコメントの実施】
令和5年2月	稲沢市観光基本計画推進委員会開催 「with コロナ期戦略版」最終確定
3月	「with コロナ期戦略版」公表